

中部圏域障がい者地域自立支援協議会研修会
『ひとりの人として生きる』 受講アンケート

令和元年12月18日

アンケート回答 26名 (参加：46名)

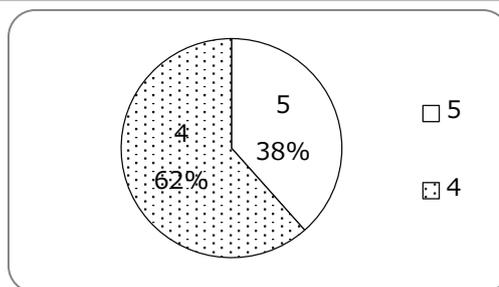
アンケート内容と集計については以下の通りです。

所属（複数回答あり）

	人数	
当事者・家族	4人	15%
自立支援協議会委員	4人	15%
障害福祉サービス事業所	16人	62%
福祉行政職員	3人	4%
その他	1人	4%
計	28人	

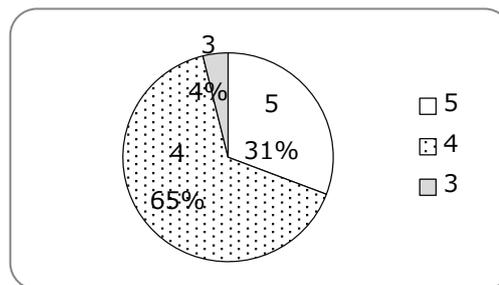
研修のテーマはいかがでしたか

	回答	人数	
良い	5	10人	38%
↑	4	16人	62%
ふつう	3		
↑	2		
悪い	1		
計		26人	



今後に役立つ内容でしたか。

	回答	人数	
良い	5	8人	31%
↑	4	17人	65%
ふつう	3	1人	4%
↑	2		
悪い	1		
計		26人	



本日の研修で最も興味を持たれたこと、あるいは印象に残ったこと

- ・「見えなくなるまでにこれをやっておこう」ということばが印象的でした。あるものがなくなるという事はたいへん切なく人生に及ぼす影響は大きく、それは周囲の人にも言えて、大切な人が亡くなったりするのも同様とは言い切れないが、相当な意志が必要と感じました。
- ・「体験があるから興味が持てる」ということ。障がいの程度や能力を見るだけでなく、どう興味をもってもらおうのかという働きかけをしたいと思いました。
- ・「誰一人も取り残さない」共生社会。全ての人が100%満足する社会は難しいが、全ての人が意見を出せ、話し合いの場に立てることが大切。一印象に残りました。
- ・「当事者自身も考えや気持ちを表に出し、人として成長し続けよう。」という言葉。受け身ではなく、誰もが社会の構成員として活躍できる社会を実現するために、それぞれに役割があるということ。
- ・『それぞれ役割がある』本当にその通りであり、それを一人一人感じられるような社会にするため、自分には何ができるのか、考えていきたいと思います。
- ・合理的配慮は人間として生きていく自然な思いやり。対話が必要。
- ・山口先生のポジティブな考えを持って立ち向かわれる姿勢
- ・いけないことはいけないと伝えることの大切さ。
- ・子どもに多くの経験をつませることが、共生社会につながるということ。

- ・ 支援者として、間違ったことであれば、それを伝えると事も必要、責任と権利のバランスを欠いたら指摘してくださいと言われたこと。
- ・ 支援者は「海」であること、そして、波を受けて育つことを「待つ」大切さ。命に触れる経験は本当に大切ですね。ありがとうございました。
- ・ いろいろなこと。親として、自立支援協議会の委員として…。
- ・ エピフライを初めて知りました。『果たす役割が違うだけ』、今日はこの話が印象に残りました。私にもある役割を見つけていきたいと思います。
- ・ 合理的配慮は難しく感じていたが、自然な思いやり、サポートなら私にもできそうだと思います。
- ・ それぞれ役割がある。生きる経験の少なさから、無力感・無関心があるのは、障がい者であろうが健常者であろうが同じであると感じました。過去は変えられないが、これからが変わると思います。勉強になりました。
- ・ できないことは決して恥ではない。
- ・ 共生社会実現のために一人ひとりができることがあるということ。
- ・ 経験をたくさん積んでポジティブな思考・考えへつなげられる人間になりたい。
- ・ 合理的配慮とは人間として生きていく自然な思いやり。
- ・ 松ぼっくりの話。勝ち負けではなく、それぞれ果たす役割が違うだけ。一定の見かたしかできていないと、勝ち負けという目線で見えてしまう。
- ・ 合理的配慮について、何でもかんでもとにかく支援しなければと思っていたが、お互いにとって無理のないサポート・配慮ということで、そこまで肩に力を入れなくていいんだと気付けた。
- ・ 子どもたちとのエピソードなど、実体験に基づいたお話しで、一言一言に説得力があり、心に響きました。
- ・ 障がいの有無に関わらず、全ての人が前を向いて取り組んでいける社会を目指したいとおっしゃったその熱意に同感すると同時に、前を進んでおられる先生の姿に感動しました。色々な事が勉強になりました。支援に役立てて、取り組んで行きたいです。
- ・ 当事者、家族、支援者それぞれに向けたメッセージ。心に残りました。
- ・ 話し合い(対話)をすることが、大切だと思います。支援する側の価値観で達成するのではなく、本人にとっての価値観に寄り添えたらと思います。

研修全体を通しての意見・感想等

- ・ 推進法の中に出てくる「合理的配慮」の意味がよく分かりました。
- ・ SDGsもよく聞く言葉ですが、「誰一人取り残さない」とても印象に残りました。
- ・ きて良かったです。
- ・ とても気持ちの入ったお話しで心に響きました。もう少し聞きたかったです。
- ・ 貴重な勉強会でした。ありがとうございました。
- ・ 支援者としては、できないことや課題に目が行きがちですが、生きがいや楽しみを持つといった視点で、その方の人生に寄り添えたらと思いました。
- ・ 私の祖父、弟、妹が身体、知的障がい者であり、様々な見方、コメントが心に響きました。またよろしく願います。ありがとうございました。
- ・ 私はまだ若いので、しっかりと自分の人生を生きることに努力したい。そして、自分の役割を見出したい。
- ・ 障がい当事者の参加が少なく残念です。
- ・ 精神障がいには、ちがった視点で考えることができました。
- ・ 先生のニュースを以前に見ていて、衝撃的でした。現状を伺い…切ないです。制度や法律は整っているのに、ローカルではあまり現状はかわらない。
今、自分が関わっている人がこのような思いをされることがないように力を尽くしていきたいです。
- ・ 先生の前向きなお人柄やお話しにパワーをいただきました。ありがとうございました。
- ・ 当事者の方からの実体験を聞くことができ、イメージも湧きやすかったです。「みんなそれぞれ活躍する役割がきっとある。」自分にも何か役割があるのかなと考えてみたくくなりました。
- ・ 当事者の方からの話を聞いて勉強になりました。
- ・ 熱のあるとても学びの深いお話しでした。自分ができることから、少しずつでも始めていきたいです。
- ・ 力強い内容であったなと思います。ネガティブな気持ちをポジティブにと思わせるような時間でした。

今後、研修会を開催するとしたら、どんな内容のものを希望されますか

- ・ できたら、また山口雪子先生のお話しを聞かせていただければと思います。
- ・ 発達障がい等の子どもさんを持っておられる当事者の方の話を聞いてみたいです。
- ・ 毎回、良い話を聞いても、この場で終わらず、障がい者一人一人に届いているのでしょうか。もっと障がい者に声かけをしてください。